

[参考・3月（確報）]
電力小売自由化に関する
意識調査結果

令和2年4月22日（水）



注)電力小売自由化に関する意識調査は、物価モニター調査の令和2年3月及び平成30年10月調査のみの設問であったため、令和2年3月及び平成30年10月調査から当該意識調査部分を抜粋し、確報として数値を更新した上で、参考として公表するものである。

1. 意識調査結果

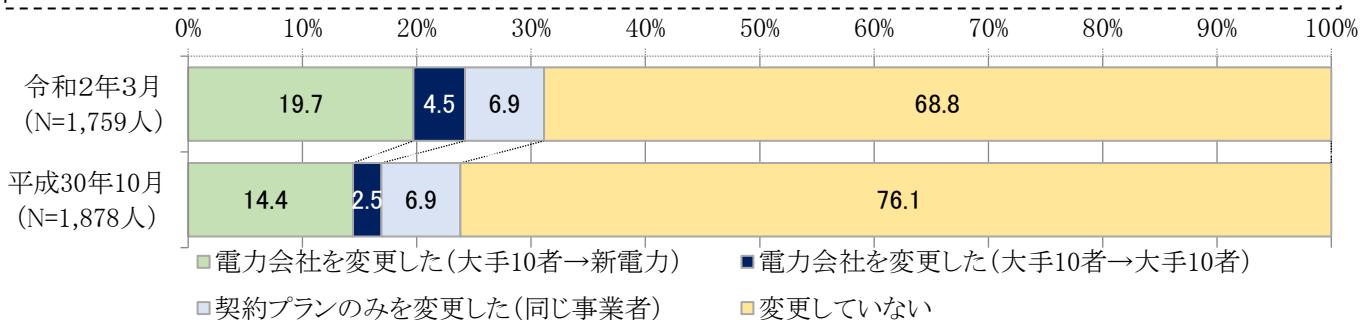
問1 「御家庭の電気契約」についてお伺いします。2016年4月の電力の小売全面自由化以降、御家庭の電気の契約を変更しましたか。次のうち当てはまるものを1つ選んでください。

(注1)選択肢における大手10者とは以下をさします。

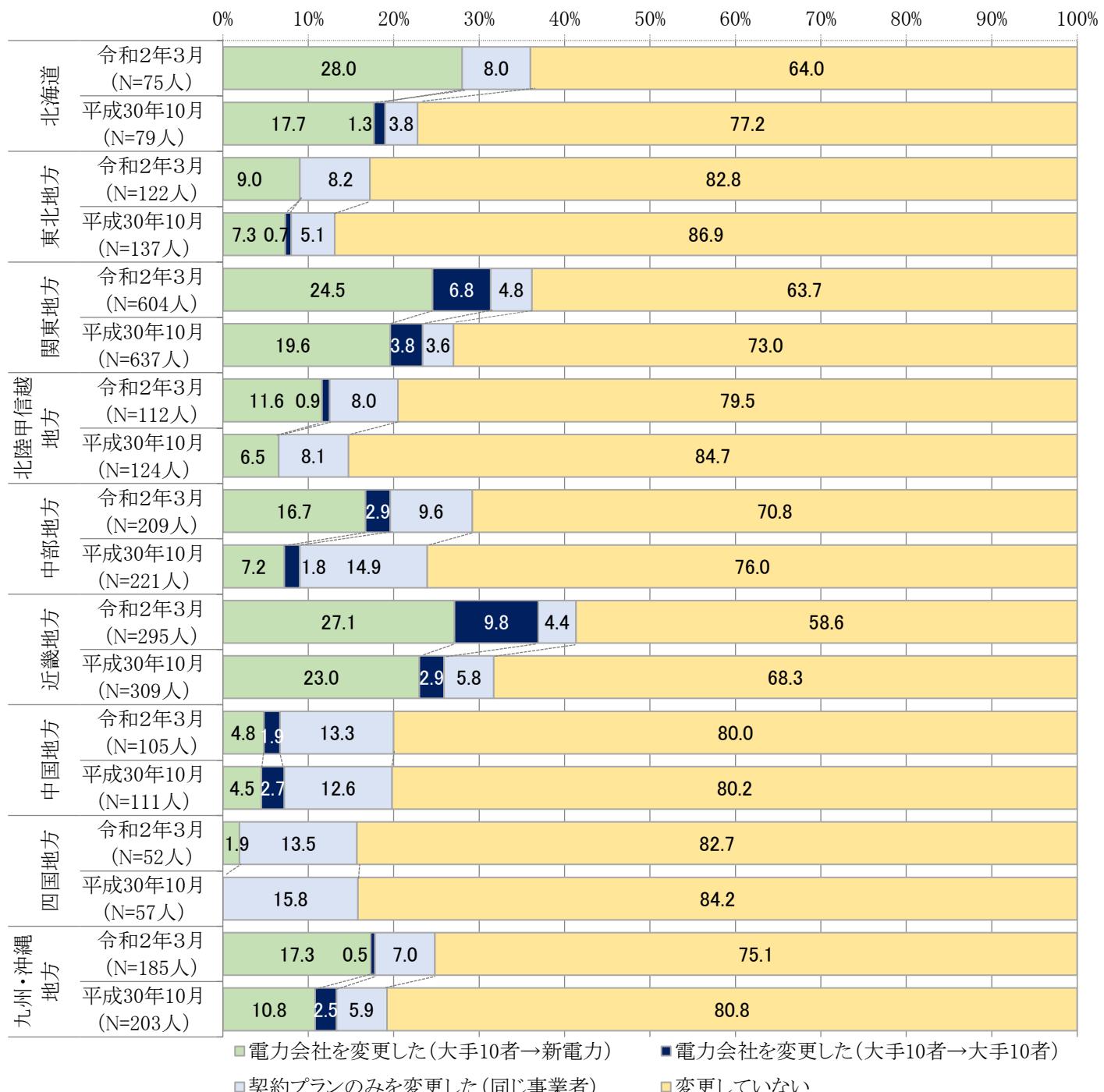
北海道電力、東北電力、東京電力E P、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力
また、新電力とは上記の電力会社とは別に新規に参入し、電気の小売りを行う事業者をさします。

(注2)契約先・契約プラン変更の合計が2回以上の場合、当初から最終的にどう変更したかをお答えください。

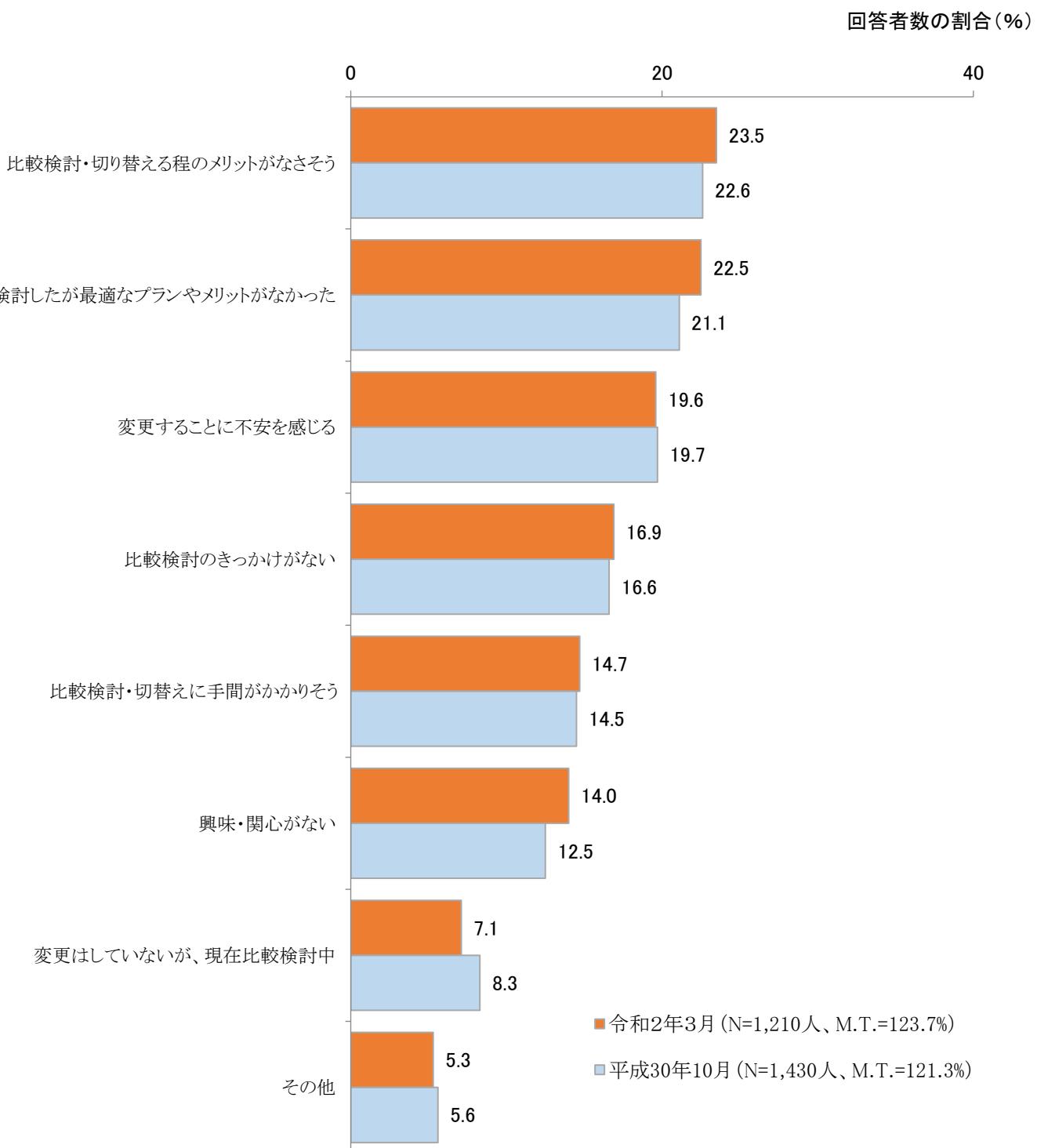
(例) [大手→新電力→新電力] = 選択肢1 [大手A→新電力→大手B] = 選択肢2 [大手A→新電力→大手A] = 選択肢3



<(参考)居住地方別>

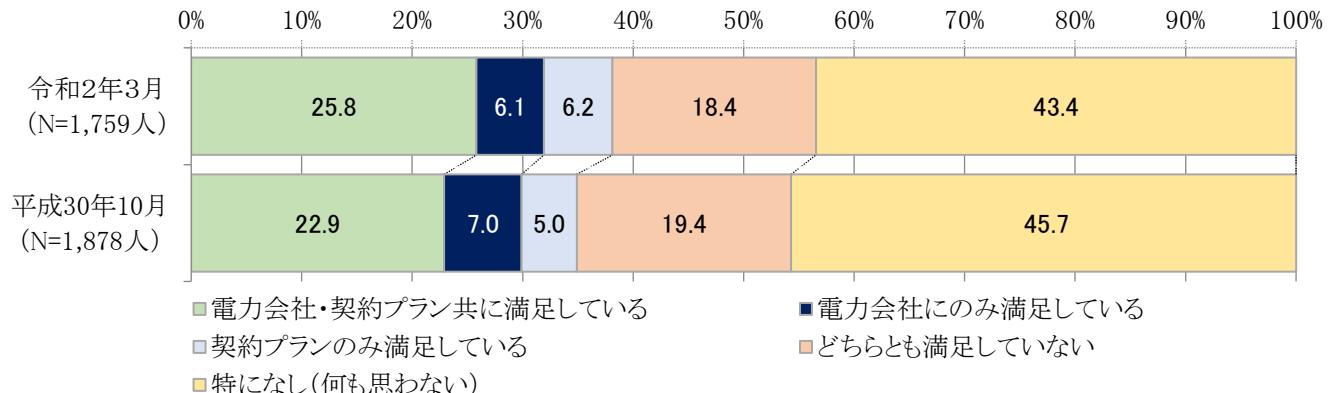


問2 問1で「変更していない」と回答した理由として当てはまるものを全て選んでください。

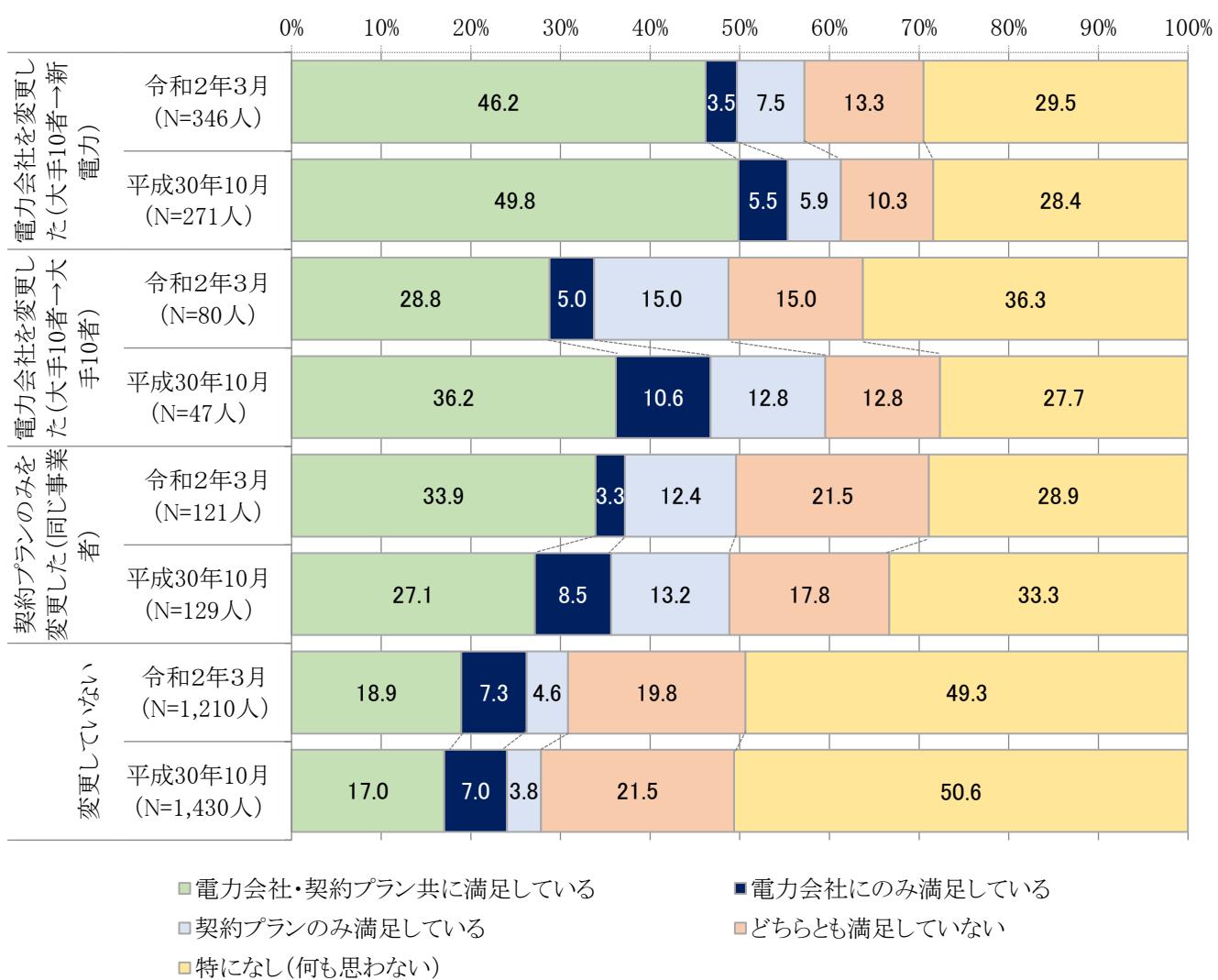


問3 御家庭の電気の契約について、どの程度満足されていますか。

次のうち当てはまるものを1つ選んでください。

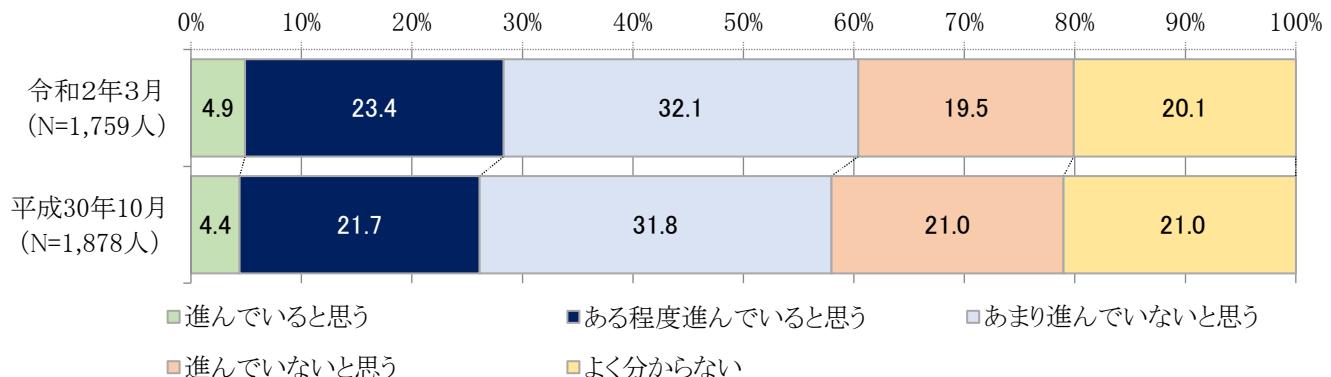


<(参考)スイッチング状況別>



問4 2016年4月から始まった電力の小売全面自由化についてお伺いします。

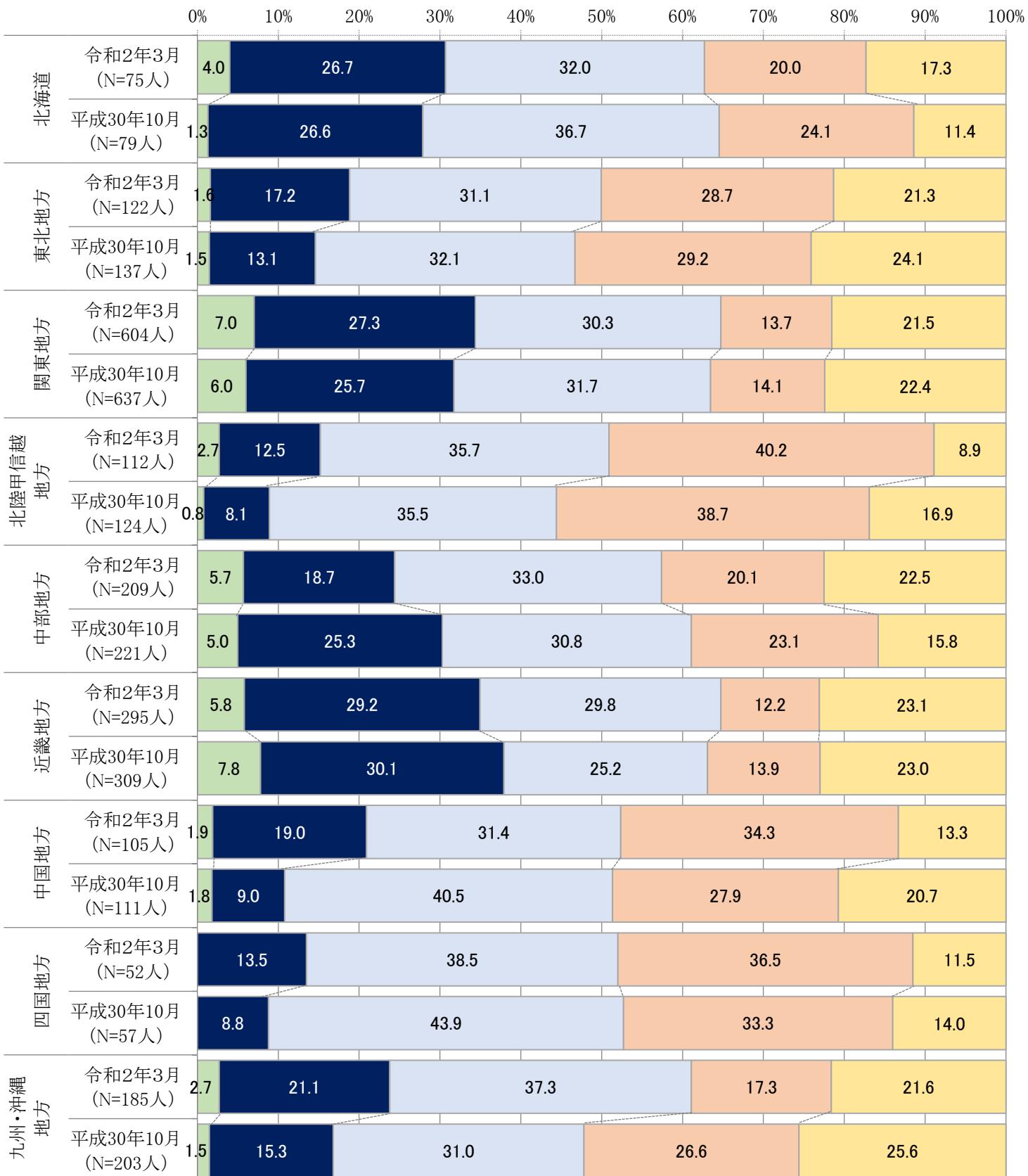
あなたのお住まいの地域では、新しい事業者の参入や様々な料金メニュー・サービスの登場により、競争が進んでいると感じますか。次のうち当てはまるものを1つ選んでください。



問4 2016年4月より始まった電力の小売全面自由化についておうかがいします。

あなたのお住まいの地域では、新しい事業者の参入や様々な料金メニュー・サービスの登場により、競争が進んでいると感じますか。次のうち当てはまるものを1つ選んでください。

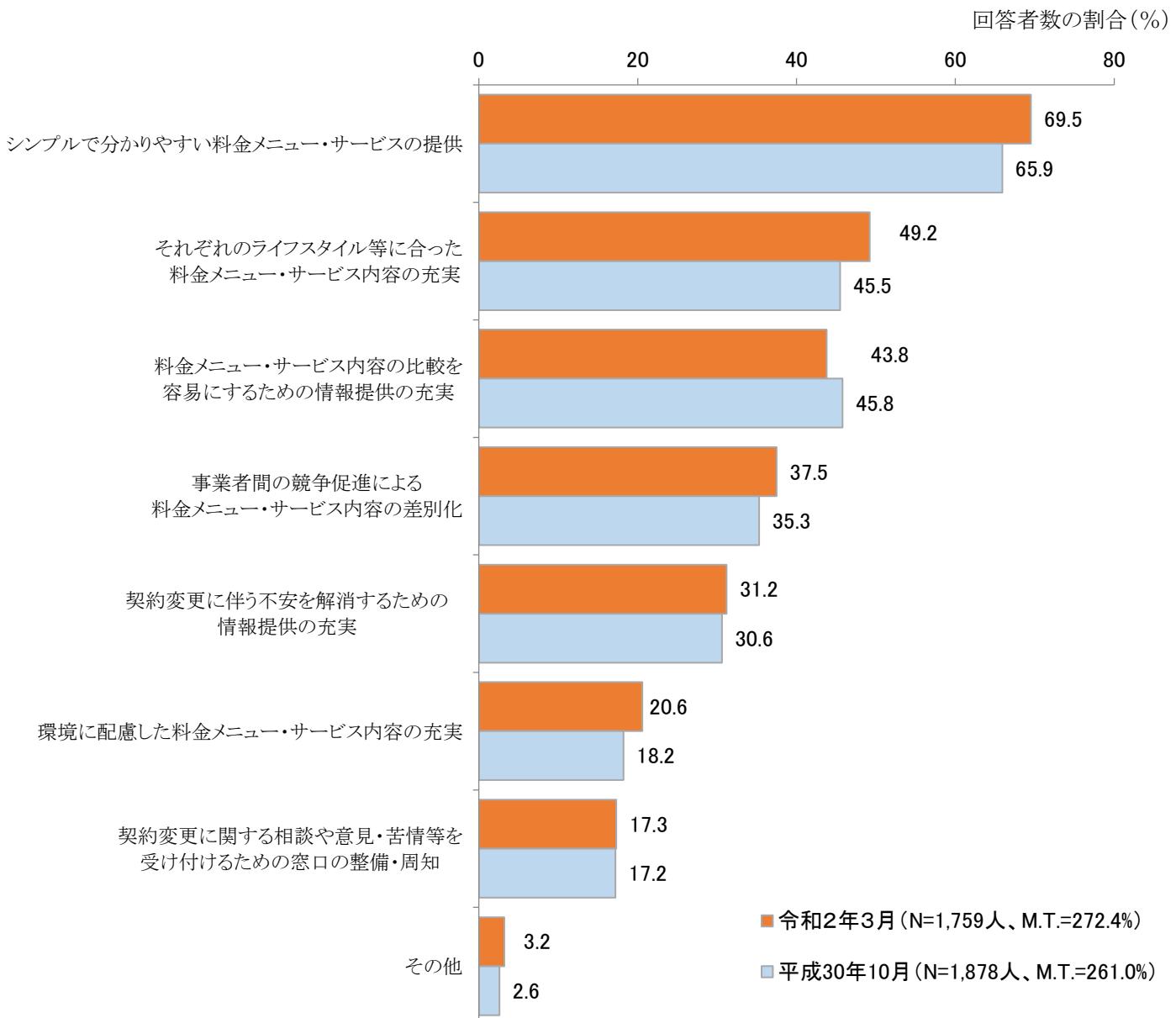
<(参考)居住地方別>



■進んでいると思う ■ある程度進んでいると思う □あまり進んでいないと思う ■進んでいないと思う ■よくわからない

問5 今後、電気の契約を変更しやすくなるためにどうしたらいいと思いますか。

あなたが特に重要なと思うものを全て選んでください。



2. 3月調査(確報)の回答者の属性

3月調査の回答者数:1,759人

①性別

男性	557人 (31.7%)
女性	1,202人 (68.3%)

②年齢

20～29歳	21人 (1.2%)
30～39歳	175人 (9.9%)
40～49歳	538人 (30.6%)
50～59歳	567人 (32.2%)
60～69歳	331人 (18.8%)
70歳以上	127人 (7.2%)

③職業

正社員	499人 (28.4%)
正社員以外の被雇用者	506人 (28.8%)
会社、団体などの役員	16人 (0.9%)
自営業	70人 (4.0%)
専業の主婦・主夫	483人 (27.5%)
学生	7人 (0.4%)
無職	147人 (8.4%)
その他	31人 (1.8%)

④居住地方

北海道	75人 (4.3%)
東北地方	122人 (6.9%)
関東地方	604人 (34.3%)
北陸甲信越地方	112人 (6.4%)
中部地方	209人 (11.9%)
近畿地方	295人 (16.8%)
中国地方	105人 (6.0%)
四国地方	52人 (3.0%)
九州・沖縄地方	185人 (10.5%)

⑤居住形態

単身	143人 (8.1%)
二人暮らし	584人 (33.2%)
三人暮らし	500人 (28.4%)
四人暮らし	388人 (22.1%)
五人以上	144人 (8.2%)

⑥世帯年収

300万円未満	261人 (14.8%)
300～500万円	459人 (26.1%)
500～700万円	473人 (26.9%)
700～1,000万円	362人 (20.6%)
1,000万円以上	203人 (11.5%)